

■お使いになるときの注意



皮膚についた場合

無理にはがさずにお湯(40℃)の中でゆっくりともみほぐしながらはがすが、専用のハクリ剤やアセトンなどの溶剤を使用してください。



眼に入った場合

清浄な水で繰り返し洗浄し、医師の診断を受けてください。眼をこすったり、ハクリ剤やアセトンなどの溶剤は、絶対に使用しないでください。



吸引した場合

空気の新鮮な場所へ移動し、うがいをしてください。気分が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。



飲み込んだ場合

量が少なければすぐに固まります。あわてず大量の水で口をすすぎ、固まった接着剤を手でとります。大量の場合はやけどをすることがありますので、水で冷やしてすぐに医師の手当を受けてください。



こぼれた場合

ポリエチレン製の手袋を着用し、布などですばやく少量ずつふき取ってください。布など繊維状のものに接着剤が浸透すると、かなり発熱し白煙を上げる場合があります。その際、皮膚に接触するとやけどを起すので、軍手などは着用しないでください。



作業をする場合

刺激臭があるので換気に注意してください。長時間使用したり、大量に連続して使用すると、眼、鼻、のどを刺激します。取り扱い場所の周辺は、接着剤の臭気が滞留しないように換気に配慮し、火気厳禁としてください。

■お使いになった後の注意



●使用後は、ノズル先端をきれいにふき取り、キャップをして火気のない乾燥した冷暗所に保管してください。



●アルカリ性の雰囲気のある場所や、硬化促進剤、アミンなどと一緒に保管しないでください。



●紫外線でも硬化しますので、直射日光のあたるところに置かないようにしてください。



●幼児や低学年児童の手の届かないところに保管し、いたずらをしないように注意してください。

■廃棄するときの注意

接着剤を少量ずつ直射日光にあてて硬化させ、廃プラスチック類として処理してください。各自治体の定めた処理方法に従ってください。



●日光をあてる



●廃棄する